

# 獨協医科大学病院だより

— Dokkyo University School of Medicine Hospital News —



写真：「獨協医科大学病院と日光連山を望む」(本学第5職員寮屋上より撮影)

謹賀新年  
平成16年(2004年)

1月



第3号

## ◆ 主な内容 ◆

新年のご挨拶 (病院長) .....	2
病院機能評価「認定証」交付 .....	2
本日のカルテ (この時期この季節の病気) .....	3
身体障害者補助犬同伴について .....	4
患者様相談窓口について .....	4
人間ドックのご案内 .....	5
とちぎテレビ・朝生カルテ放送日程のご案内 .....	5
糖尿病ウォークラリー開催される .....	6
血液検査でわかること .....	6
院内学級発表会の模様 .....	7
Healthy Life (健康生活を応援します！) .....	7
お知らせ(本誌に関するご感想・ご意見をお寄せください) .....	8
休診日・時間外救急部のご案内 .....	8





## 新年のご挨拶

獨協医科大学病院

病院長 寺野 彰

新年おめでとうございます。皆様、よいお正月をお迎えになったことと思います。昨年は、職員の皆様、本当によくがんばっていただきました。まず心よりお礼を申し上げます。昨年は、医療費の削減から始まり、入院医療の包括評価の導入によって病院経営の大きな変革期となりました。最近、何でも拙速に押しつけてくる厚生労働省の方針は本当に納得のいかないものが多く、皆様も戸惑っておられることと思います。しかし、皆様のご努力によって、何とかこの窮状をしのいでおります。今後とも財政状況の改善に努力して参ります。

昨年の病院にとってのもっとも重要な出来事は、なんとといっても、8月の特定共同指導の再指導でした。一昨年の本指導の結果、再指導との指示には本当に驚きかつ納得がいきませんでした。他の病院と比較しても決して劣るところはなかったからです。しかし、冷静に考えてみれば、これは当病院の改善のための絶好の機会でもあったのです。5月段階から、稲葉副院長をチーフとして、対策委員会を設置し、古市教授に班長になっていただき、対策を講じて参りました。その結果、カルテの全面的見直しを始め、病院内の整備に病院全体一丸となつていただき、短期間で驚くべき改善を見ることができました。特に入院、外来カルテの再チェックは、カルテの書き方を始めその意義、重要性について皆さんに再認識していただくことになりました。ともかく、この再指導を乗り越えなければ、病院の存続そのものが危うくなるとの皆様の認識のもと、全力を尽くしてこの難局を乗り切ることができました。指導監査官も、最後の講評で、この短期間によくこれまで改善された、心から敬意を表するといわれ、涙が出そうになったものです。

さらに、翌月9月初旬には、病院機能評価本審査があり、これも皆さんのがんばりで、なんとか保留事項なし、改善事項なしの完全な認定証を獲得できたのです。新しい厳しいバージョンになって、大学病院としては初めてのものだそうです。ともかく、院内にタバコの吸い殻一本あっても不合格とのことで緊張したことは、皆さん記憶に新しいところだと思います。夏休み返上の皆さんのご努力に対し心からお礼申し上げます。ただ、その後、12月に「認定病院のつどい」という全国講演会がありましたが、そこで一度認定されても毎年のチェックが必要だとの見解も示されました。確かに、審査が終わったという安心感で、少々気がゆるんで来た面も否定できません。あのときのような緊張感を持って今後もがんばっていただきたいと思うのであります。

その後、10月末には、医療監視が行われましたが、健康診断受診率がほぼ100%ということで係官も大変感激しておりました。問題点としては、医療安全などの講習会の出席率、特にドクターのそれが低いことが指摘され、周知徹底ということが今後の問題点として指摘されました。

この一年、大きな医療事故もなく、私も記者会見に引っ張り出されることなく過ごすことができました。しかし、今後も油断なく緊張感を持って医療安全、患者さん中心の医療に邁進してほしいものであります。

まだまだ書きたいこともあるのですが、次の機会にしましょう。

昨年の皆様のご協力、ご努力に感謝し、今年1年が獨協医科大学病院にとりまして飛躍の年になるよう祈りながら、新年の挨拶といたします。

2004年 元旦

### 『(財)日本医療機能評価機構“病院機能評価”「認定証」交付される』

当院では病院機能の一層の充実・向上を図り、質の高い医療を効果的に提供していくため、このたび第三者機関(財団法人日本医療機能評価機構)による評価を受け、『合格』いたしました。

認定期間：2003年11月17日～2008年11月16日

認定証：一般病院





## 本日のカルテ



### 子どもの発熱について



小児科・講師 吉原 重美

子どもの発熱の多くは、かぜなどのウイルス感染によって起こりますが、その時、焦らず、慌てず対処するために、発熱時の注意点や対応について整理しておきましょう。

#### Q 健康な子どもの体温は？

体温は1日中同じ温度ではありません。朝は低めで、夕方は高めです。運動をしたり食事をしたあとは、体温が高くなります。また、赤ちゃんは厚着や暖房などの影響で高く測れてしまうことがあります。おかしいと思ったら、しばらくしてもう一度測ってみましょう。

#### Q 脳への影響は？

高熱になると脳に障害がおこるのではないかと心配される方がありますが、40℃ぐらいの熱があっても、熱そのもので脳に障害がおこることはありません。

#### Q 着る物の調節は？

体温が上昇している時は手足が冷たくなり、寒がる時は着る物や布団を1枚掛けてあげて下さい。体温が上昇してしまった後は今度は暑がりますので着る物や布団を調節し、熱がこもらないようにしてあげて下さい。

#### Q 額を冷やすことは？

高熱時に氷枕や水枕などで額を冷やすと気持ちが良いものです。それで熱が下がるわけではないので、本人が嫌がるようであれば無理にする必要はありません。



#### Q 部屋の温度は？

暑くもなく寒くもなく適温にすればよく、エアコンデショナーを使用して構いません。直接冷気があたりますと反射により四肢の血管が収縮し、体温が上昇することになりますので、これは避けたほうがよいと思われます。

#### Q どのような食事にすれば良いか？

発熱時に胃腸の活動も低下しますので無理にたべさせることはありません。消化の良いものを与えてください。

#### Q 熱さまし(解熱剤)の使い方は？

38.5℃以上で、つらそうにしていたら使いましょう。高熱でも元気であれば使わなくても良いでしょう。熱さましは、熱によるつらさを軽くするための薬で、病気を治す薬ではありません。



#### Q こどもの何を注意してみるか？

食欲もあり、ご機嫌もよく、遊んでいるなどの活動性があれば、たとえ高熱があってもまだみていて良いと思われます。もしも活動性が低下したり、ぐったりしているようならば医師の診察を受ける必要があります。ご機嫌、活動性、食欲、表情など全体の様子を観察し、何か異常だと感じたときには医師の診察を受けてください。

#### Q ひきつけ(熱性けいれん)とは？

ひきつけは、小児の3～4%にみられ発熱に伴っておこる全身けいれん発作です。乳幼児に多く突然体を硬直させ、顔色不良、四肢を細かく、あるいはガクガクとふるわせます。多くは数分で終了し、体の力が抜けて呼吸が回復し、そのまま入眠します。通常、6歳頃までに消失します。

#### Q ひきつけ(熱性けいれん)が起きた場合どうしたらいいの？

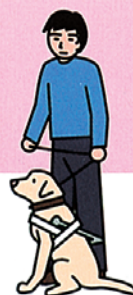
慌てず、楽な姿勢をとり、大声で呼んだり、体をゆすったり、抑えつけたりしてはいけません。また、舌を噛む心配はなく口の中に指や箸を入れる必要はありません。けいれんの持続時間を確認しておくことが大切です。けいれんが10分以上続くようなら、けいれんの途中でも医療機関に連絡してください。この場合、単なるひきつけか、何か重い病気(髄膜炎、脳炎、脱水症)によるけいれんが隠されていないかを医師に判断してもらう必要があります。







## 補助犬同伴についてのお知らせ



平成15年10月から身体障害者補助犬法が全面施行されましたことに伴いまして、当院では『原則として、外来ゾーンの通路部分（診療室中待合を除く）と各病棟のエレベーターホールまでに限り帯同を認める』という取扱いになっております。一般の患者様等のご理解をいただくとともに、補助犬使用者の方々が安心して病院内に立入ができますよう、下記のポスターとステッカーを病院出入口に掲出してあります。



皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 患者様相談窓口について



当院で療養される患者様・患者様のご家族等からの苦情、ご要望等のご相談に適切かつ迅速に対応し、当院と患者様・患者様のご家族等のより良い信頼関係を築くことを目的として、「患者様相談窓口」を設置しております。

**「患者様相談窓口」では、次の内容と方法でご相談をお受けしております。**

- 患者様・患者様のご家族等の苦情、ご要望のご相談を受け付け、ご相談に関係する部署に報告し、問題解決に向け調整を図ります。
- ご相談内容は、必要な場合、病院長に報告いたします。

**「患者様相談窓口」では、次の事項に配慮いたします。**

- 患者様・患者様のご家族等からの相談により知り得た情報は、必要とする範囲以外は口外せず、情報の秘密保持を厳守いたします。
- 患者様・患者様のご家族等が相談されたことにより、人権が侵害されないよう配慮いたします。

**「患者様相談窓口」の運用方法は、次のとおりです。**

- 窓口設置場所：病院本館1階正面 医療相談部内
- 窓口対応時間：平日（休診日を除く） 午前9時から午後5時  
土曜日（第3土曜日を除く） 午前9時から午後2時
- 窓口責任者：医療相談部長 早乙女 紘一
- 窓口担当者：医療相談部 医療ソーシャルワーカー



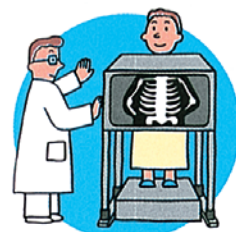
## 人間ドックのご案内

### 人間ドックについて

人間ドックの目的は、とくに自覚的に異常を感じていない方に対して定期的に検査を行い、病気を早期に発見することにあります。定期的に人間ドックを受けられることをおすすめします。

### 人間ドックのコース、ご料金など

コース	料金(消費税別)	ドック実施日	結果説明日
短期(1泊2日)	62,000円	毎週(月~火,水~木,金~土曜日)	原則として2週間後
長期(4泊5日)	400,000円	毎週(月~金曜日)	原則として2週間後



### 短期人間ドック(1泊2日)の検査項目

- 身体測定 ●尿検査 ●便検査 ●糖尿病検査(75g糖負荷試験)
- 血液(生化学・血清)検査:血液型,貧血,肝・腎・膵機能検査,脂質検査,痛風,リウマチなど
- 呼吸(肺)機能検査 ●心電図 ●X線検査(胸部・胃) ●腹部超音波検査
- 内科診察 ●外科診察 ●眼科診察 ●耳鼻咽喉科気管食道科診察 ●婦人科 ●泌尿器科診察(55歳以上)

### オプション検査について(短期人間ドック受診者のみなさま)(消費税別)

- 脳スクリーニング(MRI・MRA) 27,000円 ●骨密度測定3,600円 ●H C V抗体1,900円
- 血液腫瘍マーカー 男性コース(AFP,CEA,CA19-9,PSA) 5,900円,女性コース(AFP,CEA,CA19-9,CA125) 5,900円
- マンモグラフィ4,960円 ●頸椎・脊髄スクリーニング(MRI検査) 17,440円
- 上部消化管内視鏡検査(胃内視鏡検査) 10,000円 ●肺ヘリカルCT検査13,000円

### 長期ドック(4泊5日)の検査項目

短期ドック項目および、●頭部MRI・MRA ●脳波 ●上部消化管内視鏡検査 ●下部消化管造影(注腸)  
●上腹部CT ●肺ヘリカルCT ●心臓超音波検査 などが追加されます。

### 人間ドックのお申し込み方法

- 「人間ドック」ご希望の方は、大学病院2階の健康管理科外来にてお申し込みください。  
(入院日のご予約は電話でも可能です。)お電話番号 **0282-87-2216** (健康管理科外来直通)
- ご予約は午前9時から午後3時30分まで(月~金曜日)。土曜日は午後1時まで。日曜、祝祭日、第3土曜日、年末年始(12月29日~1月3日)、4月23日(開学記念日)はお休みです。

### 健康管理科

お電話 **0282 - 87 - 2216** (直通)

FAX **0282 - 86 - 0757**

健康管理科ホームページ <http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-m/kenkan/indexj.html>

### お知らせ

連携医療部

尚、放送時間帯は各日共に朝7時25分頃の予定です。

### とちぎTV「朝生カルテ」の放送日程



平成16年

1 月	7日(水) 産科婦人科 稲葉教授 「冷え性」	2 月	4日(水) 耳鼻咽喉科 気管食道科 平林助教授 「口内炎」
	14日(水) " " "		11日(水) " " "
	21日(水) 循環器内科 松岡教授 「むくみ」		18日(水) 耳鼻咽喉科 気管食道科 岡田非常勤講師 「のりもの酔い」
	28日(水) " " "		25日(水) " " "



## 第6回 栃木糖尿病ウォークラリーに参加して

『糖尿病正しい治療続ける習慣』  
(第39回糖尿病週間標語第1位作品)



平成14年11月に実施された糖尿病実態調査の速報が、厚生労働省から平成15年8月に公表されました。糖尿病予備軍を含めると約1,620万人(成人の6.3人に1人)と平成9年の前回の調査から250万人増加しています。

また、平成13年国民栄養調査から運動習慣については男性の29.7%、女性の27.1%が何らかの運動習慣を持っていると答えていて、男女とも70%以上の人運動習慣を持っていないことが明らかとなりました。



そんな中、「第6回栃木糖尿病ウォークラリー」に参加しました。秋の雲が天高く輝く晴天の日(平成15年10月5日(日))に、天平の丘公園(下都賀郡国分寺町)にて開催されました。

1組4~5人(計40組)のグループが地図を見ながら指示されたコースをウォーキングしながら、チェックポイントを探し、クイズを解いていくゲームです。



青空教室もあって、今年は、薬剤師さんのお話でした。糖尿病についての勉強も兼ねています。当院には、糖尿病患者会「きすげ会」があります。内分泌代謝内科の医師が窓口ですが、糖尿病療養指導士の会もあります。かかりつけの各診療科の主治医にご相談ください。

(獨協医科大学病院糖尿病療養指導士の会)



## 血液検査でわかること

### ～ 臨床検査部から患者さまへ ～

臨床検査部に設置されている生化学自動分析装置は、0.7mlの血清で37項目の検査ができます。この中から日常よく検査される代表的な項目について、検査結果から何がわかるか解説します。



検査値には「基準範囲」という検査値を解析するための“目安”が設定されています。これは、たくさんの病気の無い人の結果の中央部分95%の値の上限値と下限値として決められることがほとんどです。ですから、健康な人でも5%の方は基準範囲からはずれた値を示していることを意味します。病気の有無は医師により、症状、経過、他の検査の結果などの組み合わせで判断されています。このことから、検査値の異常と病気の有無は直接結びついているわけではないことがわかりになると思います。

例えば“肝臓の検査”として代表的なAST(GOT)、ALT(GPT)は、身体の中では肝臓や心臓、筋肉などの細胞の中で重要な働きをしている酵素です。ですから、これらの臓器のどの病気でもその臓器の細胞が壊れると血液の中にしみ出てきて、検査値が異常に高くなります。代表的な場合が、肝炎や心筋梗塞です。逆に肝硬変が進行すると肝臓から出てくる酵素がなくなってしまう、検査値としては基準範囲の値を示すようになります。でもこれは、はっきりとした異常を示す検査結果なのです。

T-CHO(総コレステロール)は、血中に流れている“すべてのコレステロール”という意味です。コレステロールの基準範囲は当院では120~260mg/dlと設定されていますが、動脈硬化症が原因の虚血性の心臓病(狭心症や心筋梗塞など)の人の総コレステロールを測ってみると220mg/dlを越えたあたりから急に増えているのです。このことは、虚血性の心臓病の人のコレステロールの測定値とこの病気の無い人のコレステロールの測定値の分布の重なっている部分が大きいことを意味します。でも、血中コレステロールは身体の中で作られたり、卵などの食品に由来しますが、ホルモン(副腎皮質ホルモンや男性ホルモン、女性ホルモン)を合成する材料として使われている物質で、私達にとって必要不可欠なものでもあります。

※検査結果の異常については、主治医の先生の判断をよく聞くことが大切だと思います。





## 第2回 院内学級・学習発表会

昨年度から、大学病院に長期入院している小学生や中学生を対象に院内学級が開設されました。

その院内学級の一イベントである学習発表会が、11月14日大学病院大会議室で行われました。日頃の学習の成果を、保護者を初め病院関係者の皆様に見ていただくというものです。実施に当たっては事前に子ども達の体調等を医師に確認し、参加が可能かどうかなどを話し合いました。そして医師のお墨付きもいただき、現在院内学級に在籍する小学生8名、中学生1名、計9名の全員で臨みました。



しかし、学習発表会前日まで治療等の関係で、子ども達が全員そろっての練習はできませんでした。当日も心配されましたが、病棟の方々のご配慮もあり、全員参加することができました。

発表した内容は、音楽の授業で学習した合奏、朝の会で唄っていた歌、各個人で調べたものの発表、全員による「モチモチの木」の音読です。会場には図工の時間に作成した版画も展示しました。

院内学級にとっては二度目の発表会でしたが、昨年経験した子ども達は既に退院しているので、子ども達にとっては全員が初めての発表会でした。病院長を初めたくさんの方々が見に来て下さり、大好きなご家族にも見つめられ、子ども達はスポットライトを浴びて、ヒーロー・ヒロインとなり堂々と発表することができました。

最後に校長先生からも「みんなは灯がともったモチモチの木だ。」という素敵な言葉をいただきました。他にもたくさんの方々に褒め言葉のいただき、感想を書いてもらったアンケート用紙には温かい励ましの言葉がたくさんあり、大変うれしく思いました。



学習発表会を無事に終了させることができたのは、日頃より院内学級に深いご理解を示して下さいる病棟の方々のおかげと思っています。ありがとうございました。「やったね！みんな大成功だよ。バンザイ！」

(栃木県立栃木養護学校・担当教員 近藤珠穂)



### ◆ Healthy Life ◆

健康生活を応援します！

# とちぎ健康21プラン



みんなで作ろう生涯健康とちぎ

国民が主体的に取り組む健康づくり運動を総合的に推進するため、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」（平成12年3月策定）が開始されています。

栃木県では、県民一人ひとりが「自分の健康は自分で作る」という意識をもって、主体的に健康づくりに取り組み、痴呆や寝たきりにならない状態で生活できる期間である「健康寿命」の延伸を図るとともに、個人の健康づくりの取り組みを家庭・学校・職場・地域等が一体となって支えていく21世紀のとちぎの健康づくりを目指して「とちぎ健康21プラン」が策定されています。

#### 栄養・食生活

栄養のバランスのとれた食事と、3食楽しくきちんと食べる食生活を実践します。



#### 運動・身体活動



運動や身体活動の重要性を理解し、日常生活の中で、心身の状態に応じて無理なく継続して運動を実践します。

#### 休養・こころ健康

日常生活の中に適切に休養を取り入れ、積極的に心身のリフレッシュに努めます。こころの健康を保つため、こころの病気の正しい知識をもち病気の予防と早期対応に努めます。



#### 飲酒

アルコールによる心身の健康への悪影響を減少させるため、「節度ある適度な飲酒」を実践するとともに、未成年者の飲酒防止に努めます。



#### 歯の健康

各ライフステージに応じた適切なむし歯・歯周病予防を実践し、生涯にわたり自分の歯を20本以上保てるように努めます。

#### がん

がん予防のため禁煙、節煙やバランスのとれた食事など生活習慣を改善するとともに、早期発見・早期治療のためがん検診を定期的を受診します。

#### 脳卒中・心臓病

発症予防のため塩分摂取量を減らすなど生活習慣の改善に努めるとともに、健康診査を受診し、原因疾患である高血圧等の早期発見・早期治療と治療継続に努めます。

#### 糖尿病

発症予防のため肥満予防など生活習慣を改善するとともに、健康診査受診による早期発見と、糖尿病発症後の治療継続を実践します。

#### 喫煙

未成年者の喫煙をなくするとともに、非喫煙者をたばこの害から守り、喫煙者は禁煙・節煙に努めます。



# 《お知らせ》

● ● 本誌に関するご感想・ご意見などをお寄せください! ● ●

病院広報誌委員会では、昨年8月1日に記念すべき“獨協医科大学病院だより”第1号を発行いたしました。この広報誌“獨協医科大学病院だより”を多くの方に読んでいただき、わかりやすく、親しまれ、楽しまれ、そして、次回号の発行を心待ちいただけるよう、誌面の充実に努力したいと考えております。

そのためにも、皆様に身近な話題を提供できるよう、皆様との交流を深め、ご意見を戴きながら、日々患者さまの視点に立った広報づくりを心掛けてまいりますので、ご感想・ご意見などを病院への手紙(用紙)にお書きになり、お近くの「ご意見箱」にお寄せください。

\*本誌は、病院各部署から皆様へのお知らせ等を誌面ににてご案内させて頂き戴きます。

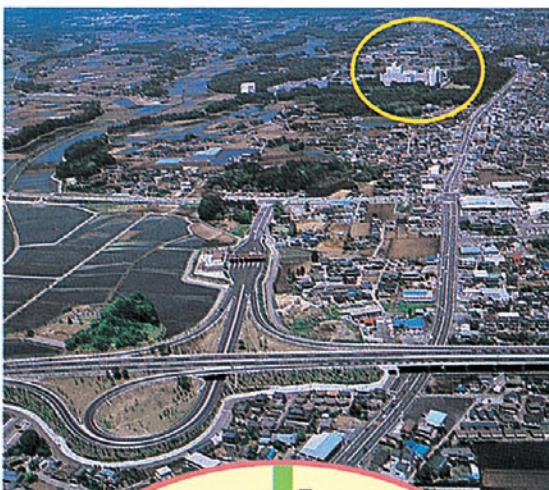
## ◆◆◆ 休診日のご案内 ◆◆◆

日曜・祝日・第三土曜日・年末年始(12月29日から1月3日)・開学記念日(4月23日)

## ◆◆◆ 時間外救急部 ◆◆◆

上記休診日および夜間は、時間外救急部が窓口となります。

※緊急を要する場合は、0282-87-2199へ、お電話ください。



### ■ 診療時間

平 日	16時30分～翌日 9時00分
土 曜 日	12時30分～翌日 9時00分
上記休診日	9時00分～翌日 9時00分

### ■ 交通アクセス (所要時間)

- ◆浅草より東武線約2時間  
浅草より東武日光線快速で「新栃木駅」にて東武宇都宮線にのりかえ「おもちゃのまち駅」下車 徒歩10分(駅西口よりバスにて3分)
- ◆上野駅よりJR宇都宮線経由約2時間30分  
JR宇都宮線「宇都宮駅」下車、市内バスにて「東武宇都宮駅」まで10分「東武宇都宮駅」より20分、「おもちゃのまち駅」下車 徒歩10分
- ◆JR宇都宮線「石橋駅」からタクシーにて15分
- ◆JR宇都宮線「宇都宮駅」からタクシーにて35分
- ◆東北自動車道栃木インターチェンジから車で30分
- ◆東北自動車道鹿沼インターチェンジから車で30分
- ◆北関東自動車道壬生インターチェンジから車で5分

## 獨協医科大学病院だより第3号

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地

TEL 0282-86-1111(代表) FAX 0282-86-4775

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

発行年月日/平成16年1月1日

編集・発行/獨協医科大学病院広報誌委員会

印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷

